

# 広報 じちしん

● 自治振興協議会連合会だより ●

▶ 第25号 ◀

【編集・発行】福島市自治振興協議会連合会  
【事務局】福島市政策調整部 地域共創課内  
電話024(525)3731



## 会長あいさつ



福島市自治振興協議会連合会  
会長 吾妻雄二

「自治振興協議会連合だより」の発行にあたり、市内28地区の地区自治振興協議会組織の連合会長として、一言ごあいさつを申し上げます。

まずは、本年1月1日に発災した「令和6年 能登半島地震」につきまして、東日本大震災という、同じ「震災」の影響を受けた私たちにとっては、悲痛の念に堪えません。被災された方へお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、自治振興協議会は、昭和32年より実施している福島市独自の制度で、市民と行政が共創の担い手として、地域ごとの課題や将来像などについて、直接意見を交換し、安全安心なまちづくりに取り組んでおります。

長らく影響を受けた新型コロナウイルスも、令和5年5月に感染症法上の分類が季節性インフルエンザ等と同様の5類となり、久々に自治振興協議会本来の意見交換の形が戻ってきたことに安堵しております。多くの方に参加をいただき、地域課題の解決に向けて多様な意見交換ができた事に、感謝申し上げます。

おわりに、地域の皆さまが安全で安心して暮らせるまちづくりのために取り組んでまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

## 市長あいさつ



福島市長  
木幡 浩

本年は、能登半島地震、航空機の衝突事故と、災いが続く波乱の幕開けとなりました。亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。一日も早く生活再建と地域の再生が進むことをお祈りいたします。

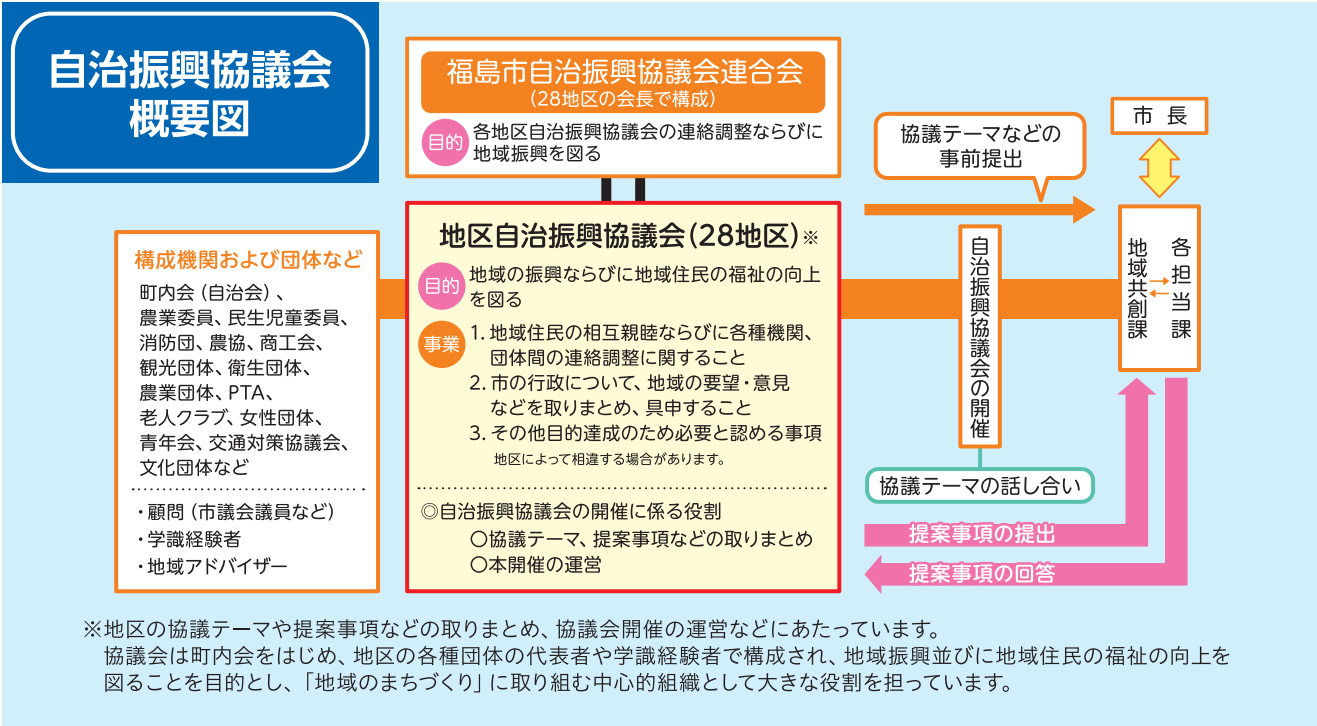
昨年、福島市は、夏の大相撲荒汐部屋の合宿、秋の全早慶野球戦などにより、ムードが上向き、コロナ禍からの回復が進んできました。観光客数と移住者数が、過去最多の昨年度を上回るペースで推移するなど、コロナ禍でも手を休めなかった政策的効果は、広範な分野で着実に表れてきています。

一方、ウクライナやパレスチナなど紛争が絶えず、人口減少が加速する中、異常気象や災害は身近に危機をもたらし、物価高騰などの経済情勢は市民生活や事業活動を圧迫するなど、福島市のまちづくりに、大きな影響を与えています。

しかし、このような状況なればこそ、未来への希望を描きながら、積極果敢に政策展開と変革を図り、上昇の流れを定着・強化し、beyondコロナの新しいステージが見えるようにしてまいりたいと思います。自治振興協議会の皆様と連携しながら、安全安心、子育てと教育、市民誰もの元気づくり、産業振興、賑わいと文化、デジタル化、ゼロカーボン、移住・定住と女性活躍を柱として、一層の創意工夫を講じながら市政を推進してまいります。ご理解とご協力をお願いします。

# 自治振興協議会とは

自治振興協議会は、昭和32年に発足した福島市独自の地域広聴制度です。地区の課題や提言及び提案を聴き、意見の交換を行うことによって、共創による安全で安心して暮らせるまちづくりの推進と、市民と行政とが情報の共有化を図るために開催しています。例年、6月下旬から8月下旬までの期間に一部合同開催を含め、市内18会場で開催しています。



## 地区会長コメント



中央東地区  
自治振興協議会  
会長  
小野 國武



■初開催のふくしまシティハーフマラソン

中央東地区は、福島駅東口側を中心に多くの人で賑わう地区があります。

本市のシンボル信夫山の「暁まいり」に由来する「福島わらじまつり」は、本市を代表するお祭りの一つです。時代に合わせて曲調や踊りを変化させながら、昨年で54回目の開催を迎えました。当協議会としても、「福島わらじまつり」をさらに盛り上げるべく、一昨年に地区の重要課題として協議テーマに掲げ、市当局と意見交換しました。

また、昨年は「ふくしまシティハーフマラソン」が初開催となり、市内外から参加した多くの健脚たちが古閑裕而ストリートなど中央東路を駆け抜けました。新緑の景色を楽しんでいただけた事と思います。

今後も地域の伝統を守りながらも、新たな息吹をもたらし、中心市街地にさらなる活気を生み出せるよう、地区としてまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。

## 令和5年度 自治振興協議会 開催状況

令和5年度の自治振興協議会は6月22日の笹谷・大笹生地区から、8月31日の中央西地区まで、28地区（一部合同開催を含め18会場）で実施しました。

今年度は開催時間や進行シナリオを開催地区毎にアレンジして実施。あいさつの前や、意見交換の前にアイスブレイクを行ったり、開催時間を短くコンパクトにして実施するなどして意見交換が行われました。

また、夜間や日曜日に開催するなど、参加者が参加しやすい環境づくりに努めました。

市からは市長をはじめ協議テーマに関連する各部長などが出席して、それぞれの地区の課題解決に向けた活発な意見交換を行いました。

### 地区別開催状況・協議テーマおよび提案事項件数

地区名	区分	開催状況		参加者数		女性出席者数割合	協議テーマ件数	提案事項件数
		月日	会場	内女性				
本庁	中央東	8/30(水)	キョウワグループ・テルサホール	68	22	32.4%	2	26
	中央西	8/31(木)	三河台学習センター	53	25	47.2%	1	9
	渡利	7/19(水)	渡利支所	69	28	40.6%	3	78
杉妻		8/1(火) 夜間開催	杉妻支所	25	8	32.0%	1	89
蓬萊		6/28(水)	蓬萊学習センター分館	47	19	40.4%	1	46
清水		8/29(火)	清水学習センター本館	111	43	38.7%	1	178
東部	東部	8/10(木)	もちずり学習センター	75	32	42.7%	3	72
	大波							31
北信	鎌田	7/18(火)	北信支所	105	47	44.8%	3	54
	瀬上							34
	糸目							67
吉井田		8/2(水)	吉井田支所	35	12	34.3%	1	74
西	荒井	7/31(月)	西支所	54	26	48.1%	2	38
	佐倉							83
土湯温泉町		6/30(金)	土湯温泉観光交流センター湯愛舞台	23	9	39.1%	1	9
信陵	笹谷	6/22(木)	信陵支所	76	30	39.5%	2	63
	大笹生							51
立子山		8/23(水)	立子山自然の家	42	14	33.3%	1	18
飯坂	飯坂	8/20(日) 日曜開催	パルせいざか	149	52	34.9%	2	35
	平野							73
	中野							19
	湯野							67
	東湯野							13
茂庭	30							
松川		8/9(水)	松川支所	71	26	36.6%	2	211
信夫		8/8(火)	信夫支所	63	23	36.5%	2	246
吾妻		6/27(火)	吾妻学習センター本館	73	28	38.4%	2	202
飯野		7/14(金)	飯野学習センター	75	33	44.0%	2	70
合 計				1,214	477	39.3%	32	1,986

### 開催時のようす



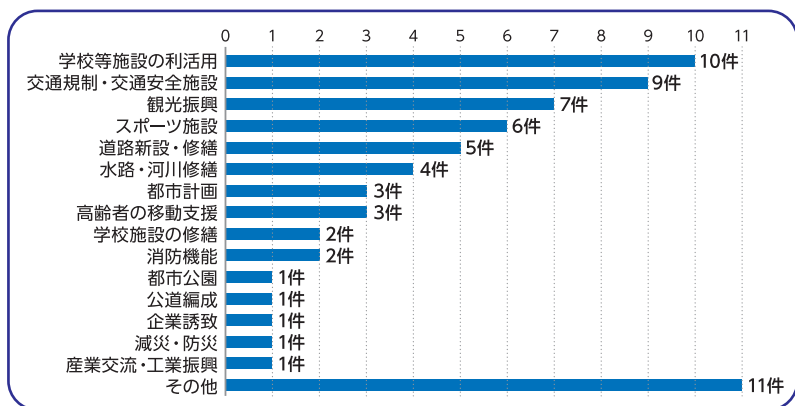


### 協議テーマ

自治振興協議会の協議テーマは、各地区の最も重要な課題や提言について、あらかじめ市に対し現状と課題の説明を行い、協議会当日は、市はどのような解決方法があるのかを示し、より良い解決策について話し合いを行っています。

令和5年度は32件、67項目の課題・提言について、話し合いを行いました。

例年、道路新設・修繕、水路・河川改修に関する意見交換が多い傾向にありましたが、今年度は下記に示すように学校・幼稚園等の廃校・統合に伴う利活用に関する内容が最も多くなり、多様な項目について協議が行われたのが特徴でした。



◆令和5年度 協議テーマ内容別 課題・提言件数内訳

### 市の対応

協議テーマは、各地区自治振興協議会で十分に検討し、市に対して提案された、地区全体あるいは市全体に関わる重要な内容であります。

市では、重要性、緊急性を十分考慮し、課題解決に努めていくため、総合計画や各種まちづくり計画などと調整し、実現を図っていきます。

## 通学路の安全確保に努めています

### 小学校通学路の安全確保について ～令和3年度提出案件～

全国で登下校中の児童生徒が死傷する、痛ましい事故が相次いだ令和3年。

通学路の安全確保について各地の自治振興協議会に

おいても、不安の声が寄せられ、協議テーマとして意見交換する地区もありました。

飯野地区でも、令和3年度に協議テーマとして意見交換がなされ、交通規制などのソフト面での対策、歩道の新設や、路肩カラー舗装などのハード面の対策、両面から効果的な対策を関係機関と協議を行い、安全対策を図ることを意見交換時に確認し、令和4年度に歩道の設置やカラー舗装化が図られました。



## 提案事項

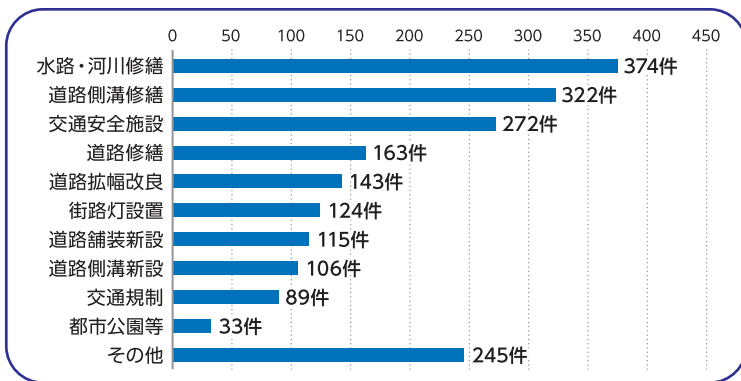
令和5年度は、総数で1,986件の提案事項が市に対して提出されました。

内容別には、従来同様、水路・河川、道路側溝修繕、街路灯の設置などが提案件数の主となっています。

より良いまちづくりを進めるために、地区の皆さんが身近な課題について協議・提案によって、地区の皆さんの意見が行政に反映されています。



水路への側溝敷設の様子



◆令和5年度 内容別 提案事項件数内訳

## 市の対応

地域生活に密着した多くの提案事項が提出されていますが、市全体での実施率は約30%超(令和4年度)と実施できる件数には限りがあります。

市では、事業の緊急性と地域のバランスなど、総合的に勘案して事業を実施してまいります。

提案内容の実現に向けて、最善の努力をしておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 地域生活基盤整備事業

地域生活基盤整備事業は、地域生活において身近な道路街路灯や道路反射鏡の設置、側溝の修繕等の整備を行うことにより、住みよい地域づくりの推進を図ることを目的とした事業です。地域全体での緊急性・利便性などを考慮し事業が進められ、令和5年度は約1億5千万円の事業費で、計329件の事業について取り組みました。(発行日現在着手中を含む)

これにより、夜道の不安解消、側溝への転落防止など、身近な地域生活の課題の解決につながり、安全で快適な住みよい地域づくりの推進が図られています。

令和5年度 内容別 地域生活基盤整備事業実施件数内訳

	事業内容	件数
1	街路灯設置	76
2	反射鏡設置	53
3	道路側溝修繕	46
4	道路除草	64
5	道路側溝新設	17
6	道路防護柵設置	4
7	道路舗装修繕	18
8	その他	51
	計	329

(令和6年2月29日現在)

### 道路反射鏡設置工事 (渡利地区)



### 区画線工事 (北信地区)



## 連合会活動報告

### 自治振興協議会連合会とは

自治振興協議会連合会は、市民と行政が一体となり市政の発展と地域の振興、毎年開催される各地区自治振興協議会の連絡調整を図ることを目的として、昭和61年に設立されました。現在、市内28地区の地区自治振興協議会により構成されています。

#### 総会

令和5年度 福島市自治振興協議会連合会総会は5月10日に開催し、令和4年度の事業報告、収支決算報告、令和5年度の事業計画案、収支予算案について審議しました。

#### 会長会議

11月22日には、各地区自治振興協議会会長による会長会議を開催しました。令和5年度の地区自治振興協議会の開催状況等について報告した後、各地区における課題や今後の開催方法等について、意見交換会を行いました。

### 研修会

連合会では、市政や本市における現状と課題について理解を深めることを目的に研修を行っています。

今年度は主に高齢者の移動支援をテーマに研修を行いました。

10月24日には、市交通政策課より「地域で支える交通支援事業の実施について」説明を受け、制度の将来像や現状における課題について研修しました。

また、研修に併せて、福島市消防本部の救急車10台全てに導入された12誘導心電図伝送システム搭載の救急車や令和3年度に開署した福島消防署清水分署について、福島消防署より説明を受け、安心に対する理解を深めました。

さらに、1月25日には岩手県北上市を視察しました。

北上市では、公共交通機関の利便性が低い地域の住民を、地域の団体や法人が乗合タクシーやボランティア、有償により移動補助をしており、さらに地域ごとに状況に応じた移動補助を行っております。

各地域の導入背景や行政の経費補助について説明を受け、移動支援に対する理解をより深めました。

#### 研修の様子

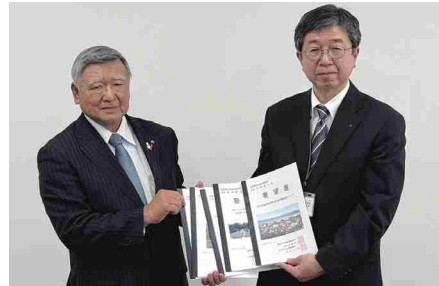


### 国・県要望活動

連合会では、国や県などが所管する道路や河川の整備・改修、信号機の設置や交通規制などについて、諸課題の解決に向け、地域の声を直接伝えるため、所管機関に対し、要望活動を実施しています。

今年度は、昨年度以前からの継続要望として県北建設事務所へ5件、要望しました。

要望案件はいずれも、子どもからお年寄りまで安全安心で快適な生活を送るために、大変重要な課題でありますので、引き続き国や県に対して地域の声を直接伝えてまいります。



■要望書を手渡する吾妻連合会長

要望内容	地区名	区分	件名
	渡利地区	継続	都市計画道路矢剣町渡利線の整備促進について
	杉妻地区	継続	濁川における鳥谷野堰の改修計画の早期策定と堰橋の拡幅について
	大波地区	継続	国道115号の整備改善について
	飯坂方面	継続	国道399号(仮称)飯坂東バイパスの整備促進について
	信夫地区	継続	永井川地区の濁川・平田川の水害対策について

### 平成27年度要望 交差点における安全対策について ～信号機が設置されました～

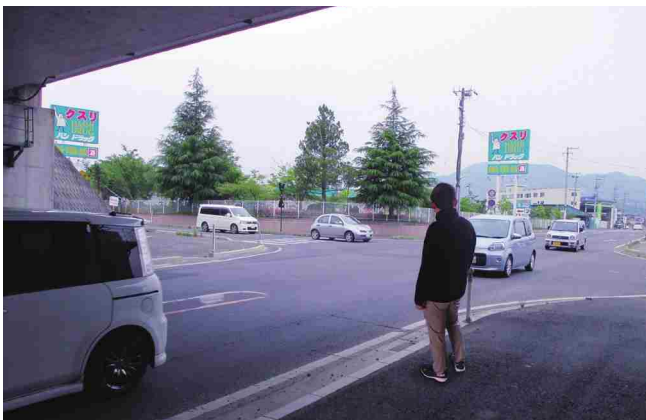
福島市街地方面から道の駅ふくしま方面へ向かう「県道折戸・笹谷線」と「市道笹谷・中野線」の交差点部は、南北に道幅が広く、自動車のスピードが出しやすい状況にありました。

さらに、東北自動車道の側道もあり多方面から車両や人が行き来する、複雑な交差点でありながら、信号機がなく、歩行者は横断に苦労しておりました。

連合会では、安全対策の観点から、平成27年度に信号機の設置を要望しておりましたが、令和5年3月に信号機が設置されました。



### 信号機設置前



■平成27年要望当時

### 信号機設置後



■令和6年2月撮影

### 地区じちしん紹介 24 中野地区

### 中野地区 会長 紺野 篤男



中野地区は福島市の北西部に位置し、東西に細長い地形をしており、地区内の国道13号と一級河川の小川に沿って耕地や住宅が広がっています。地区の西端は山形県米沢市と接し山岳地帯が広がっており、耕地面積は少ないですが自然豊かな地区です。地区の主な産業は農業であり、モモ・リンゴ等の果物の栽培が盛んです。

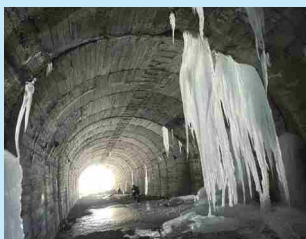
明治から大正にかけては、万世大路の整備により米沢方面へ向かう交通の要所としての役割を担い、当時の大滝部落は通行人の宿場町（大滝宿）として栄えていました。

観光関係では、日本三不動のひとつである中野不動尊があり、全国から多くの参拝客が訪れます。また、近年は古道ブームにより、「万世大路」の二ツ小屋隧道や冬季になると隧道内にできる氷の神殿（氷柱）を見学するために多くの見学者が訪れます。

令和5年3月に中野小学校が閉校となり、跡地の利活用や少子高齢化が進む中での地域コミュニティの活性化が喫緊の課題であり、地域を挙げて解決に取り組んでいます。



■二ツ小屋隧道



■氷の神殿(隧道内)



■中野小学校記念碑



■記念式典の様子

### 地区会長紹介【地区順・敬称略】

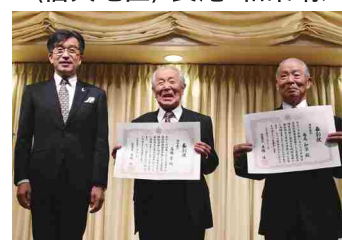
地区名	氏名	備考	地区名	氏名	備考
中央東	小野 國武	連合会副会長	土湯温泉町	陳野原 幸紀	連合会副会長
中央西	江川 純子		笹谷	木村 六朗	
渡利	宮川 千治		大笹生	吾妻 雄二	連合会長
杉妻	渡苅 弘	連合会幹事	飯坂	齋藤 静男	連合会幹事
蓬菜	加藤 一位		中野	紺野 篤男	
清水	加藤 勝夫		湯野	齋藤 一哉	
東部	森谷 繁	連合会監事	東湯野	橋内 豊明	
大波	加藤 良三		茂庭	早坂 繁源	
鎌田	大槻 弘	連合会幹事	松川	齋藤 裕	連合会幹事
瀬上	瀬戸 邦弘		信夫	黒須 義夫	地区新会長
余目	末永 弘	地区新会長	吾妻	齋藤 正明	
吉井田	片平 純		飯野	関 健一	連合会監事
荒井	曳地 敏幸	連合会幹事		菅野 廣男	連合会顧問
佐倉	小泉 廣				

令和6年2月29日現在

長年にわたり  
ありがとうございました。

令和5年度に地区会長を  
退任された皆さま

〈余目地区〉馬場 豊様  
〈信夫地区〉長尾 和榮様



■馬場様(中央)、長尾様(右)

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。  
立子山地区／宝槻直志様  
平野地区／佐藤建夫様  
ご生前のご厚情に深く感謝いたします。  
謹んで哀悼の意を表します。

